



2025 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ワ コ ム
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兼 CEO 井 出 信 孝
(コード番号 6727 【東証プライム】)
問 合 せ 先 CFO 小 島 周
電 話 03-5337-6502

ワコム、新中期経営計画『Wacom Chapter 4』を策定 「かく」体験を支え、新たな価値提供を目指す

当社は、お客様が生涯を通じてデジタルインクの創造する価値を体験できる「Life-long Ink」のビジョンを掲げ、最高のデジタルインク体験をお届けすべく、各種施策に取り組んでまいりました。この度、その取り組みをさらに発展、進化させるため、新たな中期経営計画『Wacom Chapter 4』（対象期間：2025～2028 年度）を策定いたしました。

1. 『Wacom Chapter 3』（対象期間：2021～2024 年度）の振り返り

当社は、コロナ禍以降の事業環境の変化に対応して、全社組織及びブランド製品事業の構造改革を実行し、「新ポートフォリオの立ち上げ」及び「全社共通の Wacom Platform 開発」を推進するとともに、「地域組織のビジネスモデル変更」及び「全社オペレーションの軽量化」を完了させることができました。

そして、ブランド製品事業の 2026 年 3 月期セグメント利益の黒字化と『Wacom Chapter 4』での成長に向けて、全社の 15%-20%に当たる人員ポジション閉鎖及び運営費用見直し等により 20 億円以上の費用削減プランを完遂いたしました。

2. 『Wacom Chapter 4』（対象期間：2025～2028 年度）の骨子

当社は、これまで支えてきた「描く」「書く」体験をさらに極めていくと同時に、“広義の「かく」”へと全く新しい体験価値を提供してまいります。その実現のために、当社がこれまで磨き上げてきた各要素技術をさらに高め統合し、新たな「かく」体験を実現する技術革新と共創を図ってまいります。また、各コミュニティのユースケースを深く理解、発掘すべくワコム自身がコミュニティの一部として関係性を育み、共に成長していく姿勢を貫いてまいります。そして、「創る (Creation)」「学ぶ／教える (Learning/Teaching)」「はたらく／楽しむ、その先へ (Work/Play & Beyond)」「より人間らしく生きる (Well-being)」といった 4 つのユースケース領域で、「かく」こと全般の『総合的な体験を届ける“道具屋”』へ進化してまいります。

また、当社は、高い専門性と、多様な経験と知見が担保されたスキルマトリックスを有する取締役会によるガバナンスのもと、主要な事業分野において定めた執行責任者が事業運営に携わり、以下に掲げる事業計画の概要に基づく確かな経済的成長 (2028 年度 売上高 1,500 億円、営業利益 150 億円) を目指すと同時に、ユーザー、パートナー、顧客、そしてチームメンバーを含むすべてのコミュニティとともに、測定可能な評価軸のみによらない、持続可能な、意味深い成長を探索してまいります。

(参考)『Wacom Chapter 4』事業計画の概要

利益創出力を強化するとともに、市場からの評価を高めることにより、企業価値の更なる向上を目指す。

- ・企業価値向上に向けて『Wacom Chapter 4』最終年度 2028 年度（2029 年 3 月期）に達成したいこと

「企業価値向上」＝「利益創出力の強化※1」×「市場評価の向上※2」

※1 事業成長：売上高目標 1,500 億円 営業利益目標 150 億円

資本効率性改善：ROE 目標 20%以上 ROIC 目標 18%以上

将来に向けた投資：R&D+設備投資 620 億円 技術資本提携 120 億円以上

※2 株主還元強化：総還元性向 50%以上 累進配当制度導入（年間配当金下限 22 円）

詳細については、当社 IR ウェブサイトに掲載する決算説明資料をご参照ください。

以上